

教育部（2）

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	27日
事務事業名	コミュニティスクール推進事業			事業類型	事業の推進			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	羽石 康弘				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	1 豊かな心を育む学校教育の充実を図る						
	基本事業名	4 教育環境の整備と運営体制の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	地方教育行政法	
		09	01	03	コミュニティスクール推進事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成27年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 学校運営協議会は、教育委員会が学校や地域の実情に応じて設置し、地域の人々が学校と連携・協働して、保護者及び地域住民等の学校運営への参画または支援・協力の促進及び連携強化を図ることで、児童生徒の成長を支え、地域創生や教育課程を介して地域社会とつながる学校を目指します。					【業務内容】 白鳥学園において、学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域住民の参画を得て、社会総がかりで質の高い学校教育を実現するための環境整備を図る。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
瓜連小学校児童、瓜連中学校生徒、同保護者及び瓜連地区住民	瓜連地区人口	人	7875.	7802.	7677.	7677.	7677.		
	瓜連小中学校児童生徒	人	517.	502.	521.	521.	521.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
白鳥学園(瓜連小・中学校)において、学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域住民の参画を得て、社会総がかりで質の高い学校教育を実現するための環境整備を図る。	委員(小・中合計)	人	19.	19.	22.	22.	22.		
	協議会開催回数	回	4.	4.	4.	4.	4.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・保護者、地域の思いや願いを生かした学校づくり ・郷土を愛し、将来の地域振興に貢献できる子どもの育成	関連行事数	事業	9.	3.	9.	9.	9.		
	家族や地域の人々の支えに感謝をした児童・生徒の割合	%	94.	88.	94.	94.	94.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	101	107	195	340	1,337	0	
	事業費計(A)	千円	101	107	195	340	1,337	0	
人件費計(B)	千円	4,629	0.68人	4,325	0.54人	4,325	0.54人	4,325	0.54人
投入量(A)+(B)	千円	4,730	4,432	4,520	4,665	5,662			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	地域住民等の意見を効果的、効率的に反映させる学校づくりを行うため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	保護者、地域住民等も子どもたちの教育の当事者となり責任感をもって積極的に子どもへの教育に携わることができるようになった。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者・地域住民等・学校が顔が見える関係となり、学校運営が理解と協力を得たものとなっているという意見が寄せられている。								

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	5月	27日			
事務事業名	成人式開催事業				事業類型	式典の開催						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	戸澤 英理香						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名		2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	成人式開催事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式典を開催し、成人者の門出を祝う。						【業務内容】 当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の立案や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。						
【会場】 ・平成22年度まで センチュリー那珂 ・平成23年度まで 那珂市中央公民館 ・平成24年度以降 那珂総合公園												
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
その年度に二十歳になる新成人						成人者数	人	565.	570.	570.	570.	570.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・式典の開催						実行委員募集通知の発送 件数(次年度成人者も募集)	通	1084.	1053.	1053.	1053.	1053.
						実行委員会の開催数	回	8.	6.	8.	8.	8.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。						成人式に参加した割合	%	79.2	70.35	75.	75.	75.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費				
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	2,070	2,120	2,553	2,553	2,553	0				
	事業費計(A)	千円	2,070	2,120	2,553	2,553	2,553	0				
人件費計(B)		千円	3,853	0.82人	3,007	0.67人	3,007	0.67人	3,007	0.67人		
投入量(A)+(B)		千円	5,923	5,127	5,560	5,560	5,560	5,560				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			国民的な行事であり、成人者の健やかな心身の成長と社会人としての門出を祝福するため実施することとなった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			人口減少が進む中、進学や就職等で市外へ転出する若者が多くなっている。また、民法改正により令和4年4月1日から成年年齢が18歳となるが、式典については20歳の者を対象に実施予定。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			市の財政状況を憂慮し財源を使うことは一部の市民から反対意見がある一方、行政の成人式開催は当然という意見もある。									

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	5月	27日
					点検日				
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	須藤 かなみ			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		1 地域で育てる体制の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令			
		09	05	01	各種団体補助事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。					【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民、社会教育団体			市の人口	人	54772.	54523.	54273.	54273.	54273.	54273.	
			補助団体数	団体	2.	2.	2.	2.	2.	2.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
補助金交付申請の受理、補助金の交付			申請書受理件数	件	2.	2.	2.	2.	2.	2.	
			補助金交付額(市文化協会)	千円	3865.	682.	3865.	3865.	3865.	3865.	
			補助金交付額(市PTA連絡協議会)	千円	610.	380.	610.	610.	610.	610.	
					0.	0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進			文化協会加入数	人	659.	619.	619.	619.	619.	619.	
単位PTA相互の連絡、協力によりPTA活動を充実させ、市教育の振興発展に寄与する			文化振興事業・講座・文化祭への参加者数	人	3913.	0.	3913.	3913.	3913.		
			市PTA連絡協議会事業数	事業	5.	5.	5.	5.	5.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移											
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	4,475	1,062	4,475	5,975	4,475	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	4,475	1,062	4,475	5,975	4,475	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	1,015	0.20人	2,196	0.44人	2,196	0.44人	2,196	0.44人	2,196
投入量(A)+(B)	千円	5,490	3,258	6,671	8,171	6,671					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			<ul style="list-style-type: none"> 文化に対する認識と創造性の啓発により文化の振興を図るため。 各単位PTAの連携や調整など、自発的な活動への推進が必要となったため。 								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			<ul style="list-style-type: none"> 文化協会全体で高齢化が進んでいる。高齢化による会員減少を理由に、文化協会を脱退する団体もある。 								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			文化協会については、会費が高い、法人化へ移行を促すなどの一部意見がある。								

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	5月	27日
事務事業名	青少年育成事業				事業類型	活動支援			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	木内 修平			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名		2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 03	事業名 青少年育成事業	根拠法令	社会教育法		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 那珂市子ども会育成連合会等の育成支援。 青少年育成関係団体事業の推進及び主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援。					【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
市内在住の青少年			市内の青少年数(0～19歳)			人	9149.	8957.	8772.	8772.	8772.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式典の開催による青少年育成事業の推進。			開催事業数(那珂市子ども会育成連合会)			回	4.	0.	4.	4.	4.	
			開催事業数(青少年育成那珂市民会議)			回	3.	1.	3.	3.	3.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通して、 ・会員相互の連携による青少年健全育成を推進すること。 ・親や市民の青少年健全育成に対する理解と関心を高めること。			子ども会加入人数(青少年)			人	1211.	874.	874.	874.	874.	
			青少年育成那珂市民会議3大大会参加者数			人	531.	105.	500.	500.	500.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移						単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	641	271	723	723	723	723	723	723	0	
	事業費計(A)	千円	641	271	723	723	723	723	723	723	0	
人件費計(B)	千円	3,787	0.85人	3,326	0.76人	3,326	0.76人	3,326	0.76人	3,326	0.76人	
投入量(A)+(B)	千円	4,428		3,597		4,049		4,049		4,049		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			少子化、核家族化といった社会環境の変化に伴い、子ども会活動が縮小していることを受け、市の支援により団体の事務的な負担軽減を図り、団体活動の継続や活性化を図る必要があった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			子ども会の加入率は減少傾向にあるが、単位子ども会の再編により、子ども会存続および加入促進を目指す動きがある。市民会議事業は、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			保護者からは、子ども会事業に参加し、よい経験をした等の意見が寄せられている。また、役員の負担軽減のため、今の時代に合った青少年育成支援のあり方を検討すべきとの意見がある。									

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	27日
事務事業名	各種団体補助事業			事業類型	活動支援			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	戸澤 英理香				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	05	03	各種団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年那珂市民会議および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。					【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」	補助団体数	団体	2	2	2	2	2
			0	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付	補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)	千円	820	587	820	820	820
	補助金交付額(那珂市子ども会育成連合会)	千円	300	150	300	300	300
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて、 ・会員相互の連携による青少年健全育成を推進すること。 ・親や市民の青少年健全育成に対する理解と関心を高めること。	開催事業数(那珂市子ども会育成連合会)	回	4	0	4	4	4
	子ども会加入者数(青少年)	人	1211	874	874	874	874
	開催事業数(青少年育成那珂市民会議)	回	3	1	3	3	3
	3大大会参加者数(青少年育成那珂市民会議)	人	531	105	500	500	500
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,120	737	1,120	1,120	1,120
	事業費計(A)	千円	1,120	737	1,120	1,120	1,120
人件費計(B)	千円	444	0.12人	5,408	1.15人	5,408	1.15人
投入量(A)+(B)	千円	1,564		6,145		6,528	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	本市の青少年の健全育成を図るためには、各青少年育成団体を支援し、青少年育成活動について、親や市民に理解を広めることが必要となった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	子ども会の加入率は減少傾向にあるが、単位子ども会の再編により、子ども会存続および加入促進を目指す動きがある。市民会議事業は、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、子ども会事業に参加し、よい経験をした等の意見が寄せられている。また、役員の負担軽減のため、今の時代に合った青少年育成支援のあり方を検討すべきとの意見がある。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	4日			
事務事業名	公民館施設管理事業			事業類型	施設の運営、維持管理						
担当部課G等	教育委員会	中央公民館	公民館G	記入者氏名	後藤 泰成						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり							
	施策名			3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える							
	基本事業名			1 生涯学習環境の充実							
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	公民館施設管理事業	根拠法令	社会教育法、那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 公民館施設及び設備の維持管理を行う。						【業務内容】 ・各種設備等に係る保守点検、清掃、修繕等、施設の維持管理委託業務。 ・燃料費、光熱水費の管理。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
中央公民館施設及び各種設備	施設数	件	1.	1.	1.	1.	1.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設維持管理業務、各種設備保守点検及び修繕を行う。	点検・検査・修繕の箇所数	件	16.	11.	15.	15.	15.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保ち、市民に安心して利用してもらう。	点検・検査の実施率	%	100.	100.	100.	100.	100.
	利用者数	人	64858.	32502.	60000.	65000.	65000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	1,593	1,395	1,937	1,937	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	137	133	5,135	135	135
	一般財源	千円	16,531	18,342	22,150	67,581	32,733
	事業費計(A)	千円	18,261	19,870	29,222	69,653	34,805
人件費計(B)	千円	5,945	12,170	12,170	12,170	12,170	
		0.93人	2.30人	2.30人	2.30人	2.30人	
投入量(A)+(B)	千円	24,206	32,040	41,392	81,823	46,975	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修繕が欠かせない状態となっている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	利用者から集会ホールの照明が暗い、冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見がある。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	4日
事務事業名	学級講座開設事業			事業類型	各種教室の開催			
担当部課G等	教育委員会 中央公民館		公民館G	記入者氏名	後藤 泰成			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名			3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える				
	基本事業名			2 生涯学習活動の支援				
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則	
		09	05	02	学級講座開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 生涯学習のきっかけづくりとしての初心者向け各種教室の開催と、教室生(卒業生の団体等も含む)の発表の場としての公民館まつりを開催している。なお、公民館まつりでは、1日体験教室もあわせて開催している。年度末には、学級の記録誌を発行している。					【業務内容】 ・学級講座の開設 ・公民館まつりの開催			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民(人口)及び市内在勤・在学者	対象者数	人	59614.	59365.	59115.	58600.	58400.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
公民館講座募集案内の各戸配布及びお知らせ版、市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつりを開催する。年度末に「ふれあい文集」を発行する。	講座数	講座	18.	3.	18.	18.	18.	
	全講座の開催回数	回	175.	22.	170.	170.	170.	
	公民館まつり体験教室数	教室	9.	0.	9.	9.	9.	
	受講完了者(7割以上出席者)の割合	%	90.2	92.6	92.	92.	92.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
生涯学習へ取り組む意欲を向上させるとともに成果の活用を図る。	自主教室移行講座数	講座	2.	1.	2.	2.	2.	
	講座受講者延人数	人	347.	51.	400.	400.	400.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	978	138	1,259	1,259	1,259	0
	一般財源	千円	543	206	614	614	614	0
	事業費計(A)	千円	1,521	344	1,873	1,873	1,873	0
人件費計(B)	千円	4,617	0.67人	10,020	2.80人	10,020	2.80人	
投入量(A)+(B)	千円	6,138	10,364	11,893	11,893	11,893		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	社会教育法に基づく公民館が行う事業として、講座を開設した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。また、教室の内容等も多様化が求められている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	市民から講座数の増や開催日時等の検討をしてほしいとの声があった。また、カリキュラム内容によっては、募集定員を増やしてほしいとの要望も寄せられている。							

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	5月	22日		
					点検日						
事務事業名	スポーツ教室開設事業				事業類型	各種教室の開催					
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	紺野 梓織						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える								
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援								
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	スポーツ教室開設事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者まで年齢性別を問わずスポーツに親しむ機会を提供し、楽しみながらスポーツを行うことで市民の健康増進に貢献する。						【業務内容】 スポーツ教室の企画、参加者募集、受付、教室開講事務、講師及び教室運営団体との契約等事務					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民		人口	人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
各種水泳教室・ヨガ教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施		延べ開催数	回	974.	458.	1007.	1007.	1007.		
		教室数	教室	59.	30.	77.	77.	77.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。		延べ参加者数	人	21803.	8312.	29790.	29790.	29790.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移										
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総事業費	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	所在地債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	12,561	5,016	14,320	13,259	13,259	0		
	一般財源	千円	4,001	1,391	0	1,137	1,137	0		
	事業費計(A)	千円	16,562	6,407	14,320	14,396	14,396	0		
人件費計(B)	千円	3,330	6,930	2,500	6,930	2,500	6,930	2,500		
投入量(A)+(B)	千円	19,892	13,337	21,250	21,326	21,326				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		継続して参加する方の中には教室のマンネリ化を指摘する方もいる。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。								

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	6月	2日
					点検日				
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業				事業類型	施設の運営、維持管理			
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	岡部 航介			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法		
		09	06	01	学校体育施設夜間開放事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体へ夜間開放する。					【業務内容】 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民		人口		人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市内小中学校の体育館・武道場の夜間開放		学校体育施設の開放校		学校	15.	14.	14.	14.	14.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。		利用団体数		団体	105.	80.	77.	77.	77.	
		団体構成人数		人	1854.	1413.	1273.	1273.	1273.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	669	617	793	786	786	0		
	事業費計(A)	千円	669	617	793	786	786	0		
人件費計(B)	千円	185	0.05人	1,310	0.50人	1,310	0.50人	1,310	0.50人	
投入量(A)+(B)	千円	854	1,927	2,103	2,096	2,096				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		近年学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。								

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	22日
					点検日			
事務事業名	団体補助事業			事業類型	補助金			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	紺野 梓織			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり			■ 実施計画対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える					
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援					
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	06	01	団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)							
事業概要								
【全体概要】 市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部と連携して、各種大会及び関連事業を開催している市体育協会に財政的な支援を行う。				【業務内容】 各種大会、教室の受付・進行等の業務及び体育協会事務局の事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂市体育協会加盟団体	加盟団体数(協会・連盟)	団体	18.	18.	18.	18.	18.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市体育協会に補助金を交付する。 市体育協会事務を補助する。	補助金額	千円	6580.	2754.	7118.	7118.	7118.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしてもらう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができるようにする。	連盟登録人数	人	2361.	2259.	2259.	2259.	2259.
	少年団登録人数	人	521.	582.	582.	582.	582.
	大会等の開催回数(本部主催のみ)	回	16.	1.	19.	19.	19.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,580	2,754	7,118	7,118	7,118
	事業費計(A)	千円	6,580	2,754	7,118	7,118	7,118
	人件費計(B)	千円	7,400	8,210	8,210	8,210	8,210
		1.50人	2.55人	2.55人	2.55人	2.55人	
投入量(A)+(B)	千円	13,980	10,964	15,328	15,328	15,328	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指すため、団体支援を開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	体育協会加盟団体数は18団体で横ばいだが、登録人数については減少傾向にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	30日
事務事業名	体育施設管理事業			事業類型	施設の維持管理			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	赤津 雄史			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 03	事業名 体育施設管理事業	根拠法令	体育施設設置管理条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 瓜連体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンド、戸多体育館、本米崎体育館、トレーニングルーム(総合センターらぼーる内)の維持管理事業。					【業務内容】 那珂総合公園以外の市内体育施設について維持管理する。 (ふれセンごだいの芝の管理も含む)			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
建物、グラウンド、機械	建物	棟	5.	6.	6.	6.	6.		
	グラウンド、機械	箇所、台	6.	6.	6.	6.	6.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)	除草作業	回	6.	7.	7.	7.	7.		
	保守点検	回	3.	5.	5.	5.	5.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。	不具合発生	件	9.	8.	8.	8.	8.		
	修繕	件	9.	8.	8.	8.	8.		
	利用者	人	44290.	26675.	30000.	50000.	50000.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費		
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	1,846	1,617	3,771	3,676	3,676	0	
	一般財源	千円	8,230	49,383	11,523	10,251	10,251	0	
	事業費計(A)	千円	10,076	51,000	15,294	13,927	13,927	0	
人件費計(B)	千円	2,325	0.50人	5,400	1.75人	5,400	1.75人	5,400	1.75人
投入量(A)+(B)	千円	12,401	56,400	20,694	19,327	19,327			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ施設として那珂総合公園以外の市内社会体育施設の維持管理が始まった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。								

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	1日
事務事業名	体育施設整備事業			事業類型	施設の整備改修			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	赤津 雄史			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 03	事業名 体育施設整備事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 瓜連体育館、戸多体育館、本米崎体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンド					【業務内容】 那珂総合公園以外の体育施設について整備(改修)をする。 令和2年度 瓜連体育館大規模改修工事、本米崎体育館改修工事 令和4年度 ふれあいの杜公園テニスコート改修工事 令和5年度 神崎テニスコート改修工事			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂総合公園以外の市内体育施設	管理している体育施設数	箇所	9.	9.	8.	8.	8.
	大規模な改修が必要な施設	箇所	3.	4.	2.	2.	1.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
老朽化・経年劣化等による危険箇所を改修する。	改修整備を行う施設	箇所	0.	2.	0.	1.	1.
	R2 瓜連・本米崎体育館 (大規模改修)	箇所	0.	2.	0.	0.	0.
	R4 ふれあいの杜公園テニスコート改修	箇所	0.	0.	0.	1.	0.
	R5 神崎テニスコート改修	箇所	0.	0.	0.	0.	1.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
改修整備を行うことで、安全に使用できる施設とする。	改修が完了した施設	箇所	1.	3.	3.	4.	5.
	R2 瓜連・本米崎体育館(大規模改修)	箇所	0.	2.	0.	0.	0.
	R4 ふれあいの杜テニスコート改修(実施設計)	箇所	0.	0.	0.	1.	0.
	R5 ふれあいの杜テニスコート改修	箇所	0.	0.	0.	0.	1.
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	5,000	0	0	0
	地方債	千円	0	160,200	0	0	0
	その他	千円	0	27,962	0	0	0
	一般財源	千円	0	11,081	0	46,200	46,599
	事業費計(A)	千円	0	204,243	0	46,200	46,599
	人件費計(B)	千円	0	0.00人	1,120	0.30人	0
投入量(A)+(B)	千円	0	205,363	0	47,320	47,719	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	社会体育施設の老朽化等により大規模な改修が必要となったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の経年劣化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	市内団体を中心に、利用者の運動の場として貴重な施設となっている。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年5月28日	点検日			
事務事業名	かわまちづくり支援制度活用事業				事業類型	工事					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	萩野谷 温					
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画対象事業						
	施策名 4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える										
	基本事業名 1 スポーツ環境の充実										
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 03	事業名	根拠法令	河川法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成29年度～令和3年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂西大橋下流の那珂川河川敷有効活用に当たり、消防訓練等防災施設として、また屋外スポーツの場としてのグラウンドを兼ねた多目的広場及び駐車場を整備し、同時に環境学習の場としてワンド等の整備を行うことにより、地区及び市全体の活性化を図る場を設ける。 河川区域の整備となり、整備に当たり、地域等の活性化を目指し利用計画等を盛り込んだ「かわまちづくり計画」を国(常陸河川国					【業務内容】 平成28年度に設置した協議会で、整備及び運営について協議を行っていく。整備はグラウンドや消防訓練場を兼ねた多目的広場、環境教育の場のワンド、駐車場等で設計し、令和元年度から市施工工事を発注し、国と連携して市担当分の工事を行っていく。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び戸多地区の市民					人口	人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.
					戸多地区人口	人	1609.	1572.	1543.	1500.	1500.
②手段(具体的な事務事業のやり方)					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
令和4年4月からの供用開始に向け、関係者の意見を取りまとめ整備すべき内容を決定する。 整備に向け設計・工事等を行う。					ワークショップ開催数	回	1.	0.	1.	0.	0.
					整備に係る委託・工事発注数	件	1.	1.	1.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
地域の屋外スポーツの拠点となる場を整備し、提供することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができる。					市整備率	%	40.	80.	100.	0.	0.
					国整備率	%	100.	100.	100.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移											
	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費				
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	11,700	10,300	21,700	0	0	0	0	91,000	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	7,874	4,172	22,051	0	0	0	0	31,000	
	事業費計(A)	千円	19,574	14,472	43,751	0	0	0	0	122,000	
人件費計(B)	千円	3,700	0.50人	6,890	1.60人	6,890	1.60人	0	0.00人	0	0.00人
投入量(A)+(B)	千円	23,274	21,362	50,641	0	0	0	0	0	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		屋外スポーツ団体から、現状では練習や大会開催のための場所確保が困難なため、グラウンドとして使える広場を作って欲しいと要望があり、国の「かわまちづくり支援制度」を利用した河川敷の整備を検討し進めてきた。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		スポーツ団体のほかに、地元地区である戸多地区住民団体からもイベント等に使いたい要望がある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		屋外スポーツ団体から、多目的広場でのスポーツ(練習や大会)が出来るように要望されている。整備後の管理について、維持管理団体への過大な負担とならないよう考慮すべきとの意見がある。									

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	30日			
事務事業名	総合公園管理事業				事業類型	施設の維持管理	点検日				
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える									
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	04	事業名	総合公園管理事業	根拠法令	都市公園条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 那珂総合公園の維持管理事業						【業務内容】 那珂総合公園について維持管理する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
建物、グラウンド	建物	棟	1.	1.	1.	1.	1.
	グラウンド	箇所	2.	2.	2.	2.	2.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)	保守点検	本	21.	21.	22.	21.	21.
	緑化管理	本	5.	5.	5.	5.	5.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。	故障	件	33.	49.	49.	49.	49.
	修繕	件	33.	49.	49.	49.	49.
	利用者	人	169421.	72749.	73000.	170000.	170000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	10,871	10,484	10,000	10,000
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	10,327	9,242	20,132	11,000	11,000
	一般財源	千円	147,244	124,437	140,736	152,014	152,014
	事業費計(A)	千円	157,571	144,550	171,352	173,014	173,014
人件費計(B)	千円	4,650	8,705	8,705	8,705	8,705	
		1.00人	2.45人	2.45人	2.45人	2.45人	
投入量(A)+(B)	千円	162,221	153,255	180,057	181,719	181,719	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	5月	31日
事務事業名	総合公園運営事業				事業類型	施設の運営			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	赤津 雄史				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり							■ 実施計画対象事業
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える							
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実							
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例		
		09	06	04	総合公園運営事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)								
事業概要									
【全体概要】 那珂総合公園の運営事業					【業務内容】 那珂総合公園の運営 (施設の予約、受付、使用料徴収、貸出等)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
施設の利用者、市民、広域協定自治体の市民	那珂市の人口	人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の利用者(個人・団体)に対し、予約、受付、使用料徴収、貸出等を行う。 貸出備品を適正に管理する。	電話・窓口による予約率	%	78.6	100.	100.	80.	80.
	パソコン等による予約率	%	21.4	0.	0.	20.	20.
	施設稼働率	%	74.3	72.	84.	84.	84.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が安全で快適にスポーツを楽しむことにより、生きがいを持って健康に暮らせるようになる。	施設利用者	人	169421.	72749.	80000.	170000.	170000.
	うちプール利用者	人	37809.	19669.	20000.	37000.	37000.
	日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	61.65	61.	61.	61.	61.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	1,870	0	0
	一般財源	千円	7,582	2,543	1,234	2,414	2,297
	事業費計(A)	千円	7,582	2,543	3,104	2,414	2,297
人件費計(B)	千円	2,325	9,565	9,565	9,565	9,565	
		0.50人	4.35人	4.35人	4.35人	4.35人	
投入量(A)+(B)	千円	9,907	12,108	12,669	11,979	11,862	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の運営が始まった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近隣市町村に同様の施設が建設されている中、安定した利用者数で推移している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、修繕や更新の意見要望がある。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート				作成日	令和3年	5月	31日
					点検日				
事務事業名	総合公園施設改修事業				事業類型	施設の整備改修			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	赤津 雄史				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令			
		09	06	04	総合公園施設改修事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 総合公園を改修等により整備することで、施設利用者の拡大やスポーツ環境の充実を図る。					【業務内容】 那珂総合公園について改修する。 令和2年度 セーフティーウォール改修工事(2面) 令和3年度 セーフティーウォール改修工事(2面・野球場) 令和4年度 ボイラー更新工事 令和5年度 冷温水発生器更新工事 令和6年度 アリーナ床改修工事、パッケージエアコン更新工事				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
総合公園内施設	総合公園内施設	施設	1.	1.	1.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
総合公園の維持管理のため、改修を行う。	改修が必要な施設・設備	箇所	11.	11.	10.5	9.	8.
	R2~3 総合公園セーフ ティーウォール	箇所	0.	0.5	2.	0.	0.
	R4 ボイラー更新工事	箇所	0.	0.	0.	1.	0.
	R5 冷温水発生器更新工事	箇所	0.	0.	0.	0.	1.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
修繕と整備を行うことで施設の長寿命化を図る。	改修が完了した施設・設備	箇所	1.	1.5	3.	4.	5.
	R2~3 総合公園セーフ ティーウォール	箇所	0.	0.5	2.	0.	0.
	R4 ボイラー更新工事	箇所	0.	0.	0.	1.	0.
	R5 冷温水発生器更新工事	箇所	0.	0.	0.	0.	1.
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	10,000	0	0
	一般財源	千円	0	4,499	1,440	34,210	49,184
	事業費計(A)	千円	0	4,499	11,440	34,210	49,184
	人件費計(B)	千円	0	0.00人	930	0.20人	930
投入量(A)+(B)	千円	0	5,429	12,370	35,140	50,114	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	総合公園を維持管理していくうえで改修が必要なため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、設備等の大規模な改修が必要となってきている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	利用団体等から修繕してほしいと要望が寄せられている。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	2日			
事務事業名	図書館運営事業			事業類型	施設の運営						
担当部課G等	教育委員会	図書館	管理G	記入者氏名	寺門 征信						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	07	事業名	図書館運営事業	根拠法令	図書館法、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また、情報の集積・発信基地として、より多くの市民が利用できるように図書館を運営する。						【業務内容】 主な業務は、図書館資料の選定購入、図書館まつり等の企画、図書館システムの保守など。 事業費は、報酬、賃金、システム賃借料、資料の購入費等へ支出。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民	人口	人	53436.	53187.	52800.	52500.	52300.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
図書館システムの維持管理、図書館資料の選定・購入等を行い、閲覧・貸出をする	開館日数	日	269.	223.	288.	289.	288.
	購入資料数	点	6770.	7231.	7200.	7200.	7200.
	図書館資料数	点	217876.	226549.	233749.	240949.	248149.
	イベント主催数	回	10.	0.	11.	12.	12.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの市民に自学自習の場を提供することにより、生涯学習への意識向上を図る。	登録者数	人	38981.	39430.	41000.	42000.	43000.
	貸出資料数	点	393356.	306908.	390000.	420000.	450000.
	一人当たりの貸出資料数	点	10.1	7.8	9.5	10.	10.5
	来館者数	人	243890.	147929.	240000.	260000.	265000.
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	24,330	0	9,866	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,000	6,000	50	50	50
	一般財源	千円	43,772	39,336	38,094	48,925	48,925
	事業費計(A)	千円	69,102	45,336	48,010	48,975	48,975
人件費計(B)	千円	13,160	2.20人	35,380	14.15人	35,380	14.15人
投入量(A)+(B)	千円	82,262	80,716	83,390	84,355	84,355	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市立図書館の開館に伴う事業						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成18年10月に開館し、所蔵資料も増え、市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設になっている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・新規の利用者を増加させる取り組みや学校との連携。(図書館協議会委員) ・らぼーる図書室の資源を市立図書館に集中した方がより充実した図書館サービスを提供できる。 (定期監査意見書)						

(4) 前回(令和元年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 222 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の自主的な学習活動の場として設けられた施設であり、市民の要求に応じられる資料の充実・確保を図るとともに、公共性を重視した良質な情報提供・情報発信を行ううえで、市の関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館資料(書籍、CD、DVD)の所蔵数を増やしていくとともに、地域と連携した魅力あるイベント等を実施し、新規利用者呼び込む余地がある。また、各種団体に団体貸出を推奨することによる図書館資料の活用余地がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はないので、統廃合の余地はない。生涯学習の拠点となる施設であり、同様の施設がないため、廃止・休止の可能性もない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館システム貸借については、システム機器も性能が向上しており、現システムを継続し使用していくためには必要経費であることから事業費の削減余地はない。また、人件費についても、司書をはじめ現行の人数でシフトを組んで業務にあたっているが、人数としては最低限度の人数であり、これ以上人件費を削減する余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法第17条に基づき、図書館の利用において受益者負担を求めることはできない。例外として、相互貸借及び団体貸出に係る郵送料が発生した場合には、受益者負担の適正化の観点から、郵送料について受益者負担とした。(那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則を改正：平成29年4月1日施行)

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 図書館からのおすすめ本の紹介など新企画を実施したり、図書館からの情報発信の強化に努め、登録者、リピーターの増加を図る。 図書館から学校への定期配送便事業の浸透を図り、図書館の資料の利活用と学校教育支援を強化する。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 図書館からのおすすめ本の紹介など新企画を実施したり、図書館からの情報発信の強化に努め、登録者、リピーターの増加を図る。 図書館から学校への定期配送便事業の浸透を図り、図書館の資料の利活用と学校教育支援を強化する。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	27日			
事務事業名	歴史民俗資料館管理事業			事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	歴史民俗資料館管理事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 ・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理・文化財及び市に関する歴史資料を収集・保存管理及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等の資産を様々な角度から体系的に紹介する。						【業務内容】 ・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
歴史民俗資料館設備、資料	文化財資料数	点	1640.	1650.	1660.	1670.	1680.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・民俗資料の保存管理を適切に行う。	燻蒸回数	回	1.	1.	1.	1.	1.	
	空調保守点検回数	回	2.	2.	2.	2.	2.	
	消防設備保守点検回数	回	2.	2.	2.	2.	2.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
開館予定日数を休まず開館する。破棄する資料を出さないようにする。	開館日数	日	282.	262.	304.	304.	304.	
	破棄資料数	点	0.	0.	0.	0.	0.	
	施設に対する苦情件数	件	0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費	
事業内 財源内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,386	1,398	1,243	1,243	1,243	0
	事業費計(A)	千円	1,386	1,398	1,243	1,243	1,243	0
人件費計(B)	千円	5,429	4,928	4,874	4,874	4,874		
		0.74人	0.68人	0.68人	0.68人	0.68人		
投入量(A)+(B)	千円	6,815	6,326	6,117	6,117	6,117		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	入館者はコロナウイルス感染拡大防止の臨時休館などの影響で大きく落ち込んだが、終息後は入館者数は回復すると思われる。今後とも入館者の増加に繋がられるように適切に施設と資料を維持・保存管理していく。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	常設展示の変化がない。もっと充実して欲しい。常設展以外に季節展や特別展の充実に努めてほしい。							

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	27日			
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業				事業類型	施設の運営					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画対象事業				
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	歴史民俗資料館運営事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理・文化財及び市に関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。 ・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。						・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
全市民	市民	人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.
	文化財史資料	点	1640.	1650.	1660.	1670.	1680.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内文化財資料の収集・展示公開 展示室機器等の修繕	開館日数	日	282.	262.	304.	304.	304.
	常設展の資料点数	件	170.	170.	170.	170.	170.
	年間資料収集数	件	466.	89.	70.	70.	70.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらう。	入館者数	人	12010.	1966.	14500.	15000.	15000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	570	1,000	0	0	0
	一般財源	千円	6,693	1,811	1,361	2,381	2,061
	事業費計(A)	千円	7,263	2,811	1,361	2,381	2,061
	人件費計(B)	千円	2,790	3,497	3,970	3,970	3,970
			0.46人	0.54人	0.54人	0.54人	
	投入量(A)+(B)	千円	10,053	6,308	5,331	6,351	6,031
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	開館以来入館者は、ピーク時の平成27年度1万6千人台より年々減少傾向にある。本年度はコロナウイルスの影響もあり激減した。終息後は来館者数の回復が見込まれるので、今後も資料を収集・管理していく。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	常設展示の変化がない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	21日			
事務事業名	特別展開催事業				事業類型	活動支援					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	中嶋 圭子							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり			■ 実施計画対象事業						
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	2 伝統文化の継承と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	特別展開催事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 ・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、季節展等を開催する。 ・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。						【業務内容】 ・テーマに沿った資料展示を行う。 ・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。 ・歴史講演会を開催する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
市民		那珂市の人口			人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
特別展を企画し開催する。 <令和2年度実績> ・季節展「正月飾り展」		企画展等催し物開催回数			回	5.	1.	5.	5.	5.	
		講演会実施回数			回	3.	2.	3.	3.	3.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。		入館者数			人	12010.	1966.	14500.	15000.	15000.	
		文化財等が活用されていると思う市民の割合			%	42.8	45.	50.	55.	60.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移					単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,011	97	806	806	806	806	806	806	0
	事業費計(A)	千円	3,011	97	806	806	806	806	806	806	0
人件費計(B)	千円	4,272	0.69人	2,600	0.43人	3,224	0.43人	3,224	0.43人	3,224	0.43人
投入量(A)+(B)	千円	7,283		2,697		4,030		4,030		4,030	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が15,000人前後となっていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館や特別企画展の自粛(季節展「正月飾り展」のみの開催)となり来館者が大きく減少した。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さを指摘する声が多く寄せられている。									

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	28日			
事務事業名	額田城跡整備事業				事業類型	維持管理	点検日				
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	額田城跡整備事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。						【業務内容】 額田城跡保存管理計画(第2期)に基づく整備・管理(平成29年度から令和3年度) 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間伐等					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
額田城跡、市民、市外来訪者	市民	人	54772.	54523.	54273.	52500.	52300.	
	額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
額田城跡整備工事	保存会の年間整備活動日数	回	14.	14.	15.	15.	15.	
額田城跡保存会に関する管理委託	整備工事発注件数	件	1.	0.	1.	1.	1.	
草払・倒木処理・間伐等			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。	整備活動人数	人	177.	170.	180.	180.	180.	
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	42.8	45.	50.	55.	60.	
	用地取得率	%	0.	80.	100.	100.	100.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,491	1,665	1,298	2,311	2,311	0
	事業費計(A)	千円	1,491	1,665	1,298	2,311	2,311	0
人件費計(B)	千円	2,867	3,968	3,883	3,883	3,883		
			0.39人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	
投入量(A)+(B)		千円	4,358	5,633	5,181	6,194	6,194	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。							

